PTAよこはま

第170号

横浜市Ｐ連ＨＰの
２次元コード

発行日／2022年7月6日　発行者／横浜市ＰＴＡ連絡協議会　横浜市西区花咲町6−145 横浜花咲ビル3階　編集／2021年度 常置広報委員会

第39回よこはまファミリー写生大会 受賞作品＆表彰式

よこはまファミリー写生大会は、横浜市ＰＴＡ連絡協議会の大切な事業であり、ご家族の皆さまで楽しく参加しやすい事業として、多くの企業や団体の協賛・後援により開催しております。

今年度のよこはまファミリー写生大会は前回同様に応募形式で行われました。

今年のテーマは「わたしのかぞく・わたしのがっこう・わたしのまち」であり、応募総数約２２００作品の中から審査され、６月11日（土）に横浜市教育会館にて、横浜市長賞をはじめとする様々な賞の表彰式が行われました。

表彰式では、受賞された子どもたちがご家族の見守るなか、緊張した面持ちでありながらも、誇らしげに壇上に上がりました。賞状及び記念品の授与は和やかな雰囲気を感じられる貴重な時間となりました。

なお、特別賞受賞作品は、準備ができ次第、横浜市ＰＴＡ連絡協議会のＨＰに掲載いたします。

表彰式の様子

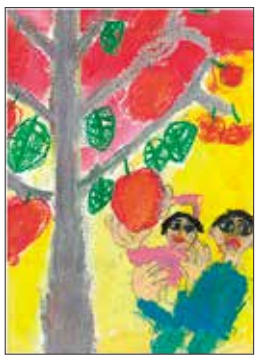
横浜市長賞

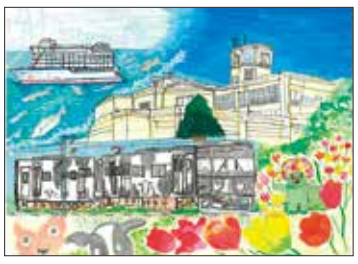
南台小学校　1年

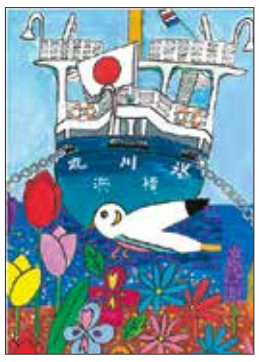
牛久保小学校　3年

篠原西小学校　６年

教育長賞


城郷小学校　２年


奈良の丘小学校　4年


青葉台小学校　5年

横浜市長賞 受賞児童の声

●3年生 大倉華乃子さん

家族の笑顔を中心に、近所のお店や公園などを空に上げて描いてみました。色のバランスを考えながら、ボールペンと色えんぴつで描きました。

●1年生 野口真央さん

学校が楽しくて、好きな学校とお友だち、いっしょに学校に行ってくれる近所のお姉さんを描いてみました。

●教育委員会事務局 学校教育企画部長 石川様のご挨拶より●

皆さんの絵は、心が温かくなる絵、周りの人を温かくする絵だと感じました。

また、一生懸命描いている真剣な表情、出来上がったときのホッとした表情を想像するとうれしくなります。

子どもの絵には一つ一つに物語があり、周りの大人にとっても宝物になるでしょう。これからも素敵な絵を描いていってください。

今年度の受賞数は次のようになりました。今年も多くのご応募をいただき、ありがとうございました。

★特別賞（小学生）72名
横浜市長賞　3名
横浜市教育長賞　3名
横浜市ＰＴＡ連絡協議会会長賞　6名
横浜市立小学校図画工作教育研究会会長賞　6名
日本ＰＴＡ全国協議会会長賞　6名
横浜市安全教育振興会理事長賞　6名
横浜港振興協会会長賞　6名
Ｆ・マリノススポーツクラブ賞　6名
横浜ビー・コルセアーズ賞　6名
横浜キャノンイーグルス賞　6名
浜文連会長賞　6名
美育文化協会賞　6名
ぺんてる特別賞　6名

★入選　125名

★ファミリー賞　33名

審査会のコメント

5月24日（火）横浜市小学校図画工作教育研究会の先生方による審査会が行われました。

横浜市図画工作教育研究会会長　寺澤みゆき先生

今年は強い思いを込めて描いている児童が多いと感じました。家族や身の周りの大事なものを描いた作品は多いですね。表現にも個性が表れていて、カラーペンだったり、絵の具だったり、自分が表現したいものに合わせて画材を選ばれていました。感動しました。素敵な時間をありがとう。

2022年度 横浜市PTA連絡協議会 役員・会計監査

〈前列　左から〉
副会長：倉根　美帆（栄区小山台中学校）
会　長：竹原浩太郎（都筑区茅ケ崎東小学校）
副会長：青柳　寛子（磯子区梅林小学校）
副会長：東　　隆幸（特別支援学校部会 盲特別支援学校）

〈後列　左から〉
書　記：筒井　京子（瀬谷区瀬谷中学校）
書　記：白石　洋子（神奈川区錦台中学校）
会　計：宮崎　　亮（都筑区勝田小学校）
会　計：髙杉　陽子（戸塚区豊田中学校）

〈欠席枠〉
書　記：島田　　潤（緑区中山中学校）

会計監査
菅野　陽子（高等学校部会 金沢高等学校）
植木　直樹（特別支援学校部会 二つ橋高等特別支援学校　副校長）

副会長

藤崎　健児
小学校長会
杉田小学校長

鈴木　薫
中学校長会
篠原中学校長

2022年度 横浜市ＰＴＡ連絡協議会総会開催

6月16日、感染症対策を行いながら、会場開催としては3年ぶりに神奈川県民ホールにて開催いたしました。ご多用のところ、ご参加いただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。議案はすべて原案通りに可決承認されました。

【議事】
2021年度
事業報告　会計決算・監査報告等
2022年度
理事候補者（案）、役員・会計監査報告者（案）、スローガン（案）、活動方針（案）、事業計画（案）、予算（案）

新会長あいさつ

竹原　浩太郎（都筑区茅ケ崎東小学校）

2022年度の市P連会長を拝命いたしました竹原です。この2年間、コロナ禍によってPTA活動が制限されていましたが、今年度は感染対策を工夫しながら活動を積極化する年度になるのではないかと思います。その中では様々な課題が生じることが想定されます。課題解決のため、市P連の目的の1つであるPTA相互の取り組みを共有し、活動の活性化を促進する機能を発揮するべく取り組んで参ります。

前会長あいさつ

秋好　直樹（泉区下和泉小学校）

おとなも育とう、こどもと共に。PTA活動は児童生徒の健やかな成長を支えることはもちろん、活動に携わる私たちの成長につながると確信しています。学校単位のPTA活動がますます充実したものとなることをお祈り申し上げます。また、今後とも市Ｐ連への変わらぬご理解とお力添えを賜れますようお願い申し上げます。

横浜市PTA連絡協議会　区部P連のご紹介

鶴見区

2021年度の役員交流事業は、自由参加で会長以外の役員も交流を目指し、「PTAにイノベーションを！」をテーマに都内で活躍するNPO法人（公立小学校PTA役員経験者により設立）代表を講師に招きワークショップを開催。「とても参考になった」との意見をいただきました。

また、スクールゾーンに関する提案書作成の過程では相反する意見や事務局内での激論も生じましたが、それを乗り越えて一枚岩になれたことは鶴見区の宝物だと思います。

神奈川区

神奈川区PTA連絡協議会は25校の小中学校で構成されています。繁華街、卸売市場、海、川、田畑、市民の森、競技場、15のステーションを有し、とても住みやすい環境です。横浜銀行アイスアリーナで私たちが毎年開催している親子アイススケート教室には多くの親子が参加し大好評です。区内中学校出身の鍵山優真選手（北京五輪銀メダリスト）による2019年のスケート教室での模範演技は私たちの宝物です。

西　区

西区PTA連絡協議会は加盟校14校（小学校９、中学校５）の小規模な区です。コロナ禍でも各校同士がコミュニケーションアプリやWebを活用するなど積極的な交流や活発な情報交換を行う工夫をしています。

「みんなではなすこと」を大切にしながら、環境の変化に合った区P連の在り方をこれからも模索していきます。

2022スローガンは、「つながろう　みんな笑顔へキックオフ」です。

中　区

中区では、感染症対策のみならず、共働き世帯が増加する昨今においてもPTA活動を持続させるべく、区内の各校と情報交換をしながら情報通信技術の活用をすすめています。

「総会」「幹事校・実務者会議」「中区教育を語る会」を、ウェブ会議システムや動画配信サービスなどの情報通信技術を活用しながら実施しました。多人数が顔を合わせる会合が困難な中、多くの方にご参加いただき活発な意見交換を行うことができました。

南　区

南区には大きな商店街が２つありますが、そのうちの弘明寺商店街と、春に見事な桜が楽しめる大岡川を紹介いたします。この商店街は横浜最古の寺院「弘明寺」へと続く、誕生の明治時代から現在までとても賑わう商店街です。特に春の時期には、大岡川沿いの桜並木がとても綺麗で、桜祭にはたくさんの露店が並び、多くの人出で賑わいます。大岡川に架かる幾つもの橋から見る桜の景色にはとても心が癒されます。是非、皆さんにも楽しんでいただきたいです。

蒔田方面から大岡川沿いのお花見を楽しみ、弘明寺商店街でぶらぶらしながら由緒あるお寺を参拝するのも良いのでは？

港南区

港南区では、小学生が登下校をする時間(８時頃と３時頃)に、散歩や買い物、家の周りの掃除などで積極的に外へ出る「港南ひまわり83運動」という子どもを見守る運動を推進しています。この運動のキャラクターが、イラストの「83太郎」です。83太郎の頭には、港南区の花ひまわりがデザインされ、区民や子どもたちに親しみを感じさせる可愛らしいキャラクターとなっています。見守ってくれる地域の方々に、子どもたちが元気にあいさつをすることで、温かい見守りの輪が地域全体に広がる運動です。

保土ケ谷区

区内にある19の小学校と、８の中学校から構成されています。スローガンに「つながろう保土ケ谷　子どもたちの未来のために」を掲げ、横のつながりを大切にしています。

主な活動は、保土ケ谷区だけが唯一開催している、PTAバレーボール大会。家庭教育学級では、講師をお招きして講演会を行っています。コロナ禍で活動がままならぬ事もありますが、保護者の皆さまにとって有意義な会となっており、各校のよりよい連携を図っております。

旭　区

コロナ禍で各校PTA同士の交流の場が減っていたこともあり、旭区PTA連絡協議会で昨年度４回開催された理事会では、多い時には全36小中学校のうち30校もの参加がありました。毎回さまざまな質問が途切れることなく飛び交い、改めて旭区のPTAに対する意識の高さが伺える有意義な会となりました。また総会に於いては、来年度以降、更に意見交換の場を増やすため、現在各校２名の代表権を４名に増やす議案も可決され、今後ますます活動の活性化が期待されます。

磯子区

磯子区PTA連絡協議会は、16の小学校と７つの中学校で構成されています。主な活動は秋の学校交流会、11月のインディアカ、１月の研修会です。学校交流会は各校のPTA役員が役職毎に集まって、様々な意見を交換する事で他校のPTA活動を知り、問題解決にも役立つ場となっています。インディアカは当協議会最大のイベントで、この日のために練習を重ねて真剣勝負します。研修会は講師を招いて有意義な勉強の場となっており、各活動を通じて他校PTAとの連携と親睦を図っています。

金沢区

金沢区PTA連絡協議会は、現在32校の小中学校で活動しております。横浜市の一番南に位置し、海や山に囲まれ風光明媚な区です。

皆さまもご存じの「八景島」や「金沢自然公園・金沢動物園」なども四季を通じて賑わっています。

昨年度は「情熱～輝く未来に向かって羽ばたこう～」をスローガンに掲げており、コロナ禍においてもPTA会員の皆さまが積極的に子ども達のために活動をおこなってきました。今年度もよろしくお願いいたします。

港北区

港北区では、コロナ禍でも親子で参加できる実験講座やキャリア教育講座を始め、手品や抽選会等のオンラインフェスを開催し、笑顔で交流することが出来ました。

また来年の３月には、相鉄・東急直通線が開業される予定で「新綱島」という新しい駅も出来ます。それに伴い商業施設や住宅等の建設も進められているので、既存の街並みと新しい街並みの融合を楽しみにしています。

緑　区

緑にあふれた町、折々の季節を彩る四季の森公園の広大な敷地には、子供たちの声が響き渡ります。緑区では、各校の役員・委員の皆さんが前向きに取り組めるよう努めています。最近のコロナ禍や、共働き世帯が増えている中、従来通りのPTA活動が難しくなり、規模縮小や改革を検討する学校もあります。令和３年度は、このような状況でも「できることをやろう」と検討をし、「指導者研修会全体会」のオンライン開催にチャレンジしました。また、学校規模別のグループ討議により、課題や悩みを気軽に相談し、前向きに解決の道を話し合う機会を設けました。今後もPTAの役割やあり方を共有できる場づくりに努めていきます。

青葉区

青葉区は、ZOOMやLINE、YouTubeを最大限に活用し、コロナ禍でも活動を続けてきました。その結果、役員の活動負担を大幅に軽減することに繋がり、保護者に活動内容をより分かりやすく伝えられる環境にすることもできました。これからも変化をおそれず、その時代のライフスタイルにより添っていきたいです。こどもの国をはじめとして公園や緑の多い魅力あふれる青葉区と共に、PTA活動を進めていきます。

都筑区

都筑区PTA連絡協議会は、毎月、理事会（会長会）を開催しています。小・中学校部会では、地域事業や防犯などについて積極的な情報交換を行い、有益な会となっています。主に、講習会の企画、PTA活動の課題の共有、防災備品の管理などを行い、より充実した学校生活となるよう取り組んでいます。昨年度のオンライン講習会では、900名を超える申し込みをいただきました。会長同士の団結力が、各校PTAを通して保護者に伝わった結果だと思っています。

戸塚区

戸塚区では34校の単位PTAを４つのブロックに分けて、会長や役員のみなさんの意見交換や情報交換などを行っています。また12月には全体会と称して、講師の先生をお招きして講演会を毎年実施しています。コロナ禍でもPTAの活動を絶やすことのないようコミュニケーションアプリを導入し、活発な意見交換を行いました。また全体会もオンライン配信に取り組むなど、新しいことにもチャレンジしています。

栄　区

PTAと学校や地域との繋がりを大切に連携して活動できるように取り組んでいます。月１回の会長会では各学校と情報交換を軸に研修会やこども110番の家の事業を展開しています。年１回開催の全体研修会では、子育てや日々の生活に役立つ内容を検討、昨年度は初めて会場＋オンラインと見逃し配信のハイブリッド式で講演会を開催し、多くの方が参加され好評をいただきました。

泉　区

泉区の活動テーマ「ともに歩み　ともに乗り越えよう　明るい未来のために」を掲げ皆で知恵を出し合い、オンライン会議や人数を抑えての意見交換会を行う等コロナ禍でも工夫し活動を行いました。

各ブロックでも多くの活動が再開し、未来に繋いでいくための努力をしております。

この２年間ほとんど行えなかった地域との交流も少しずつ回復できるよう今後も密に連携を取り合い、記憶に残る活動を行って参りたいと考えております。

瀬谷区

瀬谷区は、直線３キロに及ぶ海軍道路の桜並木やカワセミが生息する緑や水辺がある自然豊かな区です。

今年度は、月１回程度役員会を開催して、特にコロナ禍での各校の感染対策の取り組みや活動について意見交換を行いました。その中でソーラン節の発表機会がない子どもたちに対し、瀬谷駅前広場で披露できるように学校・地域と連携し発表の場を設けることができました。

今後も、子どもや瀬谷区の発展のために活動してまいります。

高等学校部会

令和３年度の市高P連では２回の研修会を対面にて実施しました。11月に横浜商業高校講堂に於いて、東洋大学のSDGsに関する取組みの一環として講師を派遣していただけるシステムを利用し環境問題について講演していただきました。６月は、横浜市内に本社を置くチョコレートデザイン株式会社様による「チョコレートと企業の社会的責任」と題したフェアトレードについての講演会を開催しました。

特別支援学校部会

特別支援学校部会は、視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱の13校で構成されています。年４回の理事会の他に、分科会、講演会を企画し、部会便りを発行しています。また、各校からの要望書をとりまとめ、教育委員会へ提出し、回答をいただいています。要望書は各校がさらにお互いの置かれた状況を知る一助にもなっています。13校あわせても、在籍児童生徒約1400名と小さな部会ではありますが、各校PTAが連携し活動を続けています。

令和４年度 横浜市ＰＴＡ新任役員研修会『子どもたちの成長の課題』

４月18日、関内ホールにて横浜市ＰＴＡ新任役員研修会が開催され、約４００名の小・中・高・特別支援学校ＰＴＡの新任役員が参加しました。

第一章は『未来の創り手となる子どもたちのために、大人としてＰＴＡとしてできること』をテーマに、神奈川大学非常勤講師、近藤昭一先生をお迎えし講演が行われました。現代の子どもたちの抱える様々な課題と、地域・家庭の役割について貴重なお話を伺うことができました。続いて第二章では、ＰＴＡ役員経験者による活動事例紹介、第三章で参加者同士の意見交換が行われました。

第一章は近藤昭一先生から、子ども・若者のネット事情とそこから見える課題についてのお話がありました。

「ＳＮＳに起因するいじめや犯罪の被害、ネット依存により、人との関わりが遠のいていくなどの悪影響もありますが、スマホで知りえる沢山の情報は、豊富な知識を簡単な操作で無限に広げることができ、決してスマホが悪いわけではない！」

また、「昔は、家庭はもちろんのこと、地域との関りや交流がもっと充実していた」とのお話もありました。

現代は、家庭や地域でのコミュニティ、人と人との関わりが希薄になってきているのは多くの保護者が感じられているのではないでしょうか。子どもたちのためにできる事を考えるのがＰＴＡとしての大きな課題です。

第二章では、ＰＴＡ活動事例として、竹原浩太郎さん、村田晴子さん、江川由紀子さん、菅野陽子さんの発表がありました。その中から菅野さんのお話では、金沢高等学校ＰＴＡは子どもたちの教育環境に関心を持ち、学校への協力を行っています。さらに特色として、保護者同士のコミュニケーションの場を提供し、自身のこれからの人生を考えるきっかけを創成することを目標としています。活動を通じて同じ価値観を持った友人との出会いの場、また新たな情報を得る場として機能しています。『ＰＴＡは保護者の部活動です！』というフレーズがとても印象に残る内容でした。

第三章は、参加者同士の意見交換でした。多くの保護者とお話ができて、貴重な機会となりました。

＼第2部／オンライン研修会

令和4年度横浜市PTA新任役員研修会〈第2部〉オンライン研修会が開催されました。

第一章横浜市教育委員会による講話では、「家庭・地域・学校のよりよい連携、協働を目指して」です。

①横浜の概況（学校数、児童生徒数）
②横浜が目指す子ども（横浜市の教育の動向）（横浜教育ビジョン2030）
③これからの地域と学校の連携、協働のあり方
PTAと学校の円滑な連携に向けてのお話もありました。

第二章は、PTAの豆知識です。

①横浜市PTAの基本情報
②PTA組織の任意性について
③PTA活動における個人情報の取り扱いについて
横浜市PTAの様々な情報が伝えられました。

令和3年度 PTA広報紙コンクール ●受賞校と作品講評

令和３年度横浜市ＰＴＡ広報紙コンクールに応募された63校の作品の中から次の作品が選ばれました。小中学校の10作品は、日本ＰＴＡ全国協議会「全国小中学校ＰＴＡ広報紙コンクール」に横浜市ＰＴＡ連絡協議会より推薦されます。

神奈川新聞社賞・会長賞

幸ケ谷小学校（神奈川区）「こうがや」

企画・撮影から入稿・配布まで自ら手掛けて年6回も発行し、高いクオリティを維持している。特に写真とレイアウトが秀逸。「卒業記念号」は全6年生が描いたイラストを見やすく配置し、一人一人の個性が伝わる。「保護者活動特集号」「ＰＴＡ会長号」には学校に関わる全ての人をつなげたいという作り手の情熱があふれている。

広報委員長賞・会長賞

あかね台中学校（青葉区）「あかね台」

今年の広報委員長賞のテーマは〈魅力ある表紙〉。学校名フォントの力強さに合わせて、背景色・写真とのバランスがすばらしく、生徒の躍動感もプラスされたことで思わず手に取る広報紙となった。

会長賞

◉平戸小学校（戸塚区）「なしの実」

印刷以外の工程を全て手作りしているが、表紙デザインも内容もバリエーション豊か。「卒業記念号」には全6年生の顔イラストと「頑張ったこと」を掲載。一人一人の個性が見え、読み返すたびに思い出がよみがえる。

◉折本小学校（都筑区）「おりもと」

記事のレイアウトとデザインが素晴らしい。愛らしいイラストをちりばめ、抜群の読みやすさを実現した。教職員紹介は、被写体のポーズと質問内容にこだわって先生たちの個性を引き出している。

◉勝田小学校（都筑区）「さわやか勝田」

運動会をアメリカンコミック風レイアウトで紹介したのは好アイデア。躍動感を巧みに表現し、特集4ページを一気に読ませる。外国人保護者サポートグループの紹介記事は、英語・中国語・韓国語を併記し、個性を際立たせている。

◉中丸小学校（神奈川区）「広報なかまる」

運動会レポートや校長インタビューなど多彩な企画を掲載した「50周年メイキング号」の出来が素晴らしい。各ページに文字や写真・イラストを詰め込んでいるが、巧みなレイアウトで読みやすく、見やすく仕上げた。

◉荏田南小学校（都筑区）「スクラム」

表紙も含め4ページと分量は少ないが、限られたスペースを有効に使うアイデアがあふれている。「給食特集号」は表紙に15種のメニュー写真を一覧で掲載。仕切り線を巧みに配して読みやすくまとめた。

◉西谷中学校（保土ケ谷区）「西谷中」

年一回発行している全20ページの力作。どのページの写真も良い構図で掲載されている。記事は特に、購買部に40年勤める女性の特集が読ませる。全4ページを割いて学校や購買部の歩みだけでなく、その人の人生も振り返った。

◉中和田中学校（泉区）「NAKAWADA School life」

「教職員・部活紹介号」はすっきりしたレイアウトで一貫性が高く、見やすい。体育祭と文化発表会などを取り上げた「Special 合併号」の東京五輪レスリング銅メダリストのインタビューは読み応え十分。

◉六角橋中学校（神奈川区）「ＰＴＡ六中」

写真を詰め込みすぎず、大半を一人一人の表情が分かるサイズで掲載しているため、活力ある学校の日常が伝わる。「卒業おめでとう号」はページごとにクラス集合写真を2枚載せ、ミニ卒業アルバムのように仕上げた。

◉横浜サイエンスフロンティア高等学校（高校）「ＹＳＦ－ＰＴＡだより」

「学校行事特別号」は付属中学を含め多彩な情報を掲載しているが、テーマ毎に色使いを変えていて読みやすい。「教職員紹介特集号」は施設紹介のページが良い。特徴のある施設を1ページに分かりやすくまとめた。

◉港南台ひの特別支援学校（特別支援）「みどりの風」

「開校50周年記念号」は学内報の域を超え、障がいを持つ人への理解を深められる内容になっている。多様な障がいの特徴や接し方を平易に説明。父母や兄弟の手記は、家族の日常と心の内を伝えている。

奨励賞 11校

◎中田小学校（泉区）
◎森の台小学校（緑区）
◎並木中央小学校（金沢区）
◎富士見台小学校（西区）
◎桜岡小学校（港南区）
◎本町小学校（中区）
◎日限山中学校（港南区）
◎義務教育学校西金沢学園（金沢区）
◎浜中学校（磯子区）
◎潮田中学校（鶴見区）
◎金沢高等学校（高校）

令和3年度 優良ＰＴＡ表彰校

各区部から推薦され表彰されました。おめでとうございます。

駒林小学校ＰＴＡ（港北区）
新吉田小学校ＰＴＡ（港北区）
白根小学校ＰＴＡ（旭区）
松本中学校ＰＴＡ（神奈川区）
中沢小学校ＰＴＡ（旭区）
さちが丘小学校ＰＴＡ（旭区）
本郷小学校保護者と教職員の会（栄区）
南神大寺小学校ＰＴＡ（神奈川区）
汲沢中学校ＰＴＡ（泉区）
盲特別支援学校ＰＴＡ（特別支援）

編集後記

170号発行にあたり、ご尽力頂いた皆さまに感謝いたします。

昨年度の広報委員会は、新型コロナウイルスの影響で初会合が今年の1月となりました。慣れない作業への不安もありましたが、LINE WORKSを活用して集まる時間を最小限にし、各区部協力のもと紙面作りを行いました。

今回私は、区部紹介の写真撮影のため区内を散策してみました。長年住んでいるわが町にも知らない道があったり、子どもが小さい頃の思い出が蘇る場所もあり身近なところで小旅行のような気分を味わいました。

気になる記事はありましたか。皆さまに横浜市PTAの活動を少しでも知っていただけたら嬉しいです。

学校の日常も戻りつつあります。子ども達が充実した日々を過ごせるよう願っています。　Ａ・Ｒ